

## 第三章 施策の考え方と具体的な取り組み

### 1 観光振興に向けた基本方針

今後の本市の観光振興においては、前章で明らかにした課題を踏まえたうえで、観光振興の柱である「きじひき高原の活用」、「桜回廊事業の推進」、「体験型観光の促進」、「スポーツ合宿の誘致」に「トラピスト修道院の景観活用」を加えた観光資源の発掘・磨き上げ・活用、プロモーション、受入体制の強化により、観光価値を高めることが重要です。

そこで、観光振興にかかわる人々や団体などが連携・協力しながら取組をすすめるための基本方針を次のとおり示します。

基本方針	概要
(1)観光資源の充実及び周遊観光の推進	きじひき高原や桜の名所、灯台の聖母トラピスト修道院といった地域資源と、自然豊かな大地と海からとれる新鮮な食資源、四季が明確な自然環境を生かした通年型、滞在型観光を確立します。
(2)誘致宣伝の強化	北海道新幹線沿線となる東北や北関東、首都圏などへの誘致宣伝活動をはじめ、インターネットなどの情報ツールやメディアを効果的に活用した情報発信により、観光客の誘客を図ります。
(3)観光客受入体制の充実	国内外の観光客目線を重視し、観光ニーズに対応した適切な情報を提供するため、観光案内所を核とした観光客の受入環境の整備に努めます。また、北斗市ならではの文化や自然等を体験・体感する「コト消費」への消費スタイルにあわせた着地型観光を促進します。
(4)多様な交流の推進	市内スポーツ施設を活用したスポーツ合宿や、市内観光地・自然景観を活用したロケーション誘致等を推進し、交流人口の拡大を図ります。
(5)広域観光の推進	わが国有数の国際観光都市である函館市をはじめ、近隣自治体、交通事業者などと連携し、広域での観光周遊ルートといった旅行商品づくりを推進します。

## 2 施策の考え方

本プランを効果的かつ機動的に推進するため、「観光振興に向けた基本方針」をもとに、今後の観光を取り巻く社会情勢の変化を見ながら、観光振興の一体的な推進を図ります。

また、観光事業者のみならず、幅広い産業や市民が一体となって、北斗市の特性を生かした魅力ある観光地づくりを着実に進めていくために、事業については、継続、新規、チャレンジの区分を設けて記載しました。

事業の区分	継続・・・すでに実施しているもので、継続して実施するもの
	新規・・・新規に実施を検討するもの
	チャレンジ・・・将来に向けて実施が見込まれるもの

## 3 具体的な取り組み

観光振興に向けた基本方針を踏まえ、施策の方向性や具体的取組みを次のように設定します。

大項目	中項目	主な事業	事業区分
1 観光資源の充実及び周遊観光の推進	ア 観光資源の発掘・磨き上げ	○観光資源の発掘と活用 地域の優れた自然環境や景観、文化、歴史的遺産など観光資源の掘り起こしと、観光資源の活用検討 ○文化・歴史的遺産などのテーマ別観光メニューの発掘と活用 箱館戦争や三木露風など文化・歴史をテーマにした観光周遊ルートの創出 ○秋冬観光の開発・促進 秋冬の観光客誘致を図るための観光メニューの開発・促進	継続       継続    チャレンジ
	イ 周遊観光の充実	○域内周遊の促進を図る観光メニューの充実 通年で市内観光地や観光関連施設等への回遊を促す観光メニューの推進 ○周遊チケット等の充実 はこだて旅するパスポート事業といった周遊チケットの充実、継続的販売 ○観光資源を活用したモデルコースづくり 観光地と地場産品を活用した料理、特産品を提供する店舗を組み入れた多彩な観光コースの創出	継続    継続   継続

	ウ 各種イベントの観光資源化	<p>○北斗桜回廊の充実 春最大の観光イベント「北斗桜回廊」の充実</p> <p>○北斗の魅力を生かしたイベント開催の支援 北斗市夏まつり、北斗市茂辺地さけまつり、きじひき高原まつりなど、地域主体で北斗市の魅力を生かしたイベントの支援</p> <p>○北斗市観光交流センターを拠点としたイベント開催の促進 北斗市観光交流センターを拠点とし、市内事業者が主体となったイベントの促進</p>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p>
2 誘致宣伝の強化	ア 各種媒体を活用した情報発信	<p>○個人旅行者に対する情報提供ツールの充実 旅行者の視点に立った観光パンフレットやリーフレット、ポスターの作成</p> <p>○放送媒体・紙媒体を通じた情報発信 テレビやラジオ、新聞、雑誌といった各種媒体を通じての情報発信の充実</p> <p>○ホームページやSNS、各種メディアを活用した効果的な情報発信 市・観光協会のホームページやSNSの運用など電子媒体による情報発信の充実</p>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p>
	イ 優位性を活かした効果的な宣伝誘致活動の推進	<p>○主要都市における宣伝誘致キャンペーンの推進 北海道新幹線をはじめ、陸、海、空の交通アクセスの利便性や豊かな資源を生かした誘客促進</p> <p>○旅行代理店などへの宣伝誘致活動の推進 旅行代理店や交通事業者、各種スポーツ団体などへの効果的な宣伝誘致活動の推進</p>	<p>継続</p> <p>継続</p>
	ウ 観光統計の効果的な実施	<p>○市内観光動向の把握、分析 市内観光地などにおける観光アンケート、各種統計を活用した観光動向の把握、分析</p> <p>○観光入込客数などの基礎データの収集 市内観光地点、行祭事・イベントの入込数の調査・公表</p> <p>○国内外観光客の入込状況調査の実施</p>	<p>新規</p> <p>継続</p> <p>継続</p>

		市内ホテル・旅館業や観光関連施設から国内外観光客の動向の把握	
3 観光客受入体制の充実	ア 受入体制の充実	<p>○きじひき高原パノラマ展望台を核とした観光メニューの充実</p> <p>きじひき高原パノラマ展望台を起点とした観光メニューや、駅周辺で朝夕、積雪時など普段では体験できない魅力ある観光メニューの充実</p> <p>○トラピスト修道院を核とした観光メニューの充実</p> <p>ウォーク事業やライトアップ事業、各施設内覧事業など、トラピスト修道院周辺の景観を活用した観光メニューの充実</p> <p>○その他観光施設等の維持管理</p> <p>七重浜海水浴場の開設、さわやかトイレ（渡島当別駅、トラピスト修道院）の維持管理、観光施設の環境美化</p>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p>
	イ 観光メニューの充実	<p>○ニューツーリズムの振興</p> <p>北斗市ならではの観光型体験、産業観光、食、景観、健康、温泉など様々な観光資源を活用した着地型の滞在プログラムの造成、普及促進</p> <p>○修学旅行向け体験メニューの充実</p> <p>体験メニューの受入先と連携した修学旅行向け体験メニューの充実</p>	<p>継続</p> <p>新規</p>
	ウ 観光を支える人材育成の充実	<p>○観光協会の体制強化</p> <p>地域資源を活用した体験・交流型旅行商品の企画・販売など収益事業による自立化の促進</p> <p>○観光マネージャーの育成</p> <p>旅行業をマネジメントする旅行業務取扱管理者の確保</p> <p>○観光情報の共有化</p> <p>観光協会の事業を通じた地域における幅広い産業の連携や交流の促進</p>	<p>継続</p> <p>チャレンジ</p> <p>継続</p>

	<p>エ 誰にもやさしい観光地づくり</p>	<p>○観光パンフレットや、観光協会のホームページでの多言語表記の充実 増加する外国人観光客を受け入れるために、観光パンフレットやホームページでの多言語表記の充実</p> <p>○外国人観光客向けの観光メニューの充実 新函館北斗駅、北斗桜回廊などで外国人観光客の誘致に向けた観光メニューの充実</p> <p>○視覚的にわかりやすい案内板・標識整備の推進 ピクトグラムといった文字以外のシンプルな視覚記号など全ての人が分かりやすい案内板・標識整備の推進</p> <p>○外国人観光客への会話ツールの活用促進 外国人観光客が気軽に市内飲食店などに立ち寄れるよう指差し英会話シートの活用促進</p>	<p>継続</p> <p>チャレンジ</p> <p>継続</p> <p>継続</p>
	<p>オ 観光ホスピタリティの向上</p>	<p>○観光ガイドの育成 歴史や文化、食、景観などを活用した観光ガイドの人材確保、育成</p> <p>○接遇研修等の実施 市内事業者や市民を対象とした接遇研修の実施</p> <p>○新函館北斗駅のホスピタリティ向上 南北海道の玄関口として国内外の観光客をお出迎えするための施設の維持管理の実施</p> <p>○観光振興に尽力した人や団体などの表彰 市功労者表彰による観光振興に尽力した人や団体などの表彰</p>	<p>継続</p> <p>新規</p> <p>継続</p> <p>継続</p>
	<p>カ 観光案内機能の充実</p>	<p>○観光案内所の人材育成 観光案内所の多言語対応や様々な業務を計画的に処理するため、研修等を通じた人材の育成</p> <p>○観光交流センターの機能充実 南北海道エリアへの玄関口として、観光交流センターの拠点機能を生かした観光客の利便性を充実、観光情報の提供</p> <p>○J N T O認定外国人案内所の情報機能の充実</p>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p>

		外国人観光客が不自由を感じることをのしないよう 多言語対応など観光機能の充実	
4 多様な交流の推進	ア 交流人口の拡大	○スポーツ合宿、各種大会の誘致 市内スポーツ施設などを活用し、滞在時間の延長や長期滞在に向けた取組の推進 ○合宿でのトップアスリートによる技術指導会の実施 スポーツ合宿等で滞在している実業団を中心としたトップアスリートからの技術指導の実施 ○映画やドラマ、コマーシャル等のロケーション誘致 自然景観などを活用した映画やドラマなどのロケ撮影に対する支援	継続  継続  継続
	イ 様々な連携による観光地づくり	○東京北斗会など本市に縁のある方々への観光情報の提供 本市に縁のある方々と連携した全国への情報発信 ○北海道・東北新幹線沿線自治体等との都市間交流 新幹線で繋がる各自治体と観光という分野における都市間交流の推進	継続  チャレンジ
5 広域観光の推進	ア 周辺自治体との連携	○新函館北斗駅・北斗市観光交流センターの活用 みなみ北海道の玄関口である「新函館北斗駅・北斗市観光交流センター」の活用促進 ○定住自立圏の形成に向けた取り組み 渡島檜山管内各市町と協働した、観光PRイベント、プロモーション、観光メニュー開発の推進 ○広域連携による宣伝誘致キャンペーン みなみ北海道の各自治体と連携した宣伝誘致キャンペーンの推進 ○広域的視点による周遊観光ルートの構築 周辺自治体や新幹線沿線自治体などと連携し、観光資源を結びつけた広域的視点による周遊観光ルートの構築	継続  継続  継続  新規

#### 4 実施体制（主体の役割）

本計画で掲げた施策の推進にあたっては、行政機関や観光関係事業者はもとより、地域を構成している市民の参画が不可欠です。

本市では、それぞれが、その得意分野を活かし、連携を取り合って、自主的かつ積極的に持続可能な観光振興・地域活性化につなげるよう、市民、民間、行政が担う役割を以下に整理します。

主体	役割
市民	<p>○北斗市在住・在勤の方、市内各種団体、大学生など、北斗市に関わるすべての市民は、北斗市の観光振興のパートナーです。</p> <p>○本計画を推進するため、北斗市の魅力を一番理解している市民一人ひとりが情報発信者としての役割を担います。</p>
民間	<p><b>【観光関連団体の役割】</b></p> <p>○観光関係団体（観光協会や商工会、観光振興を目的とする団体等）は、観光客を受け入れる着地型観光事業を実施する主体となります。</p> <p>○本計画を推進するため、組織体制の強化に努め、着地型観光に関する事業の実施・調整について、民間の中心的役割を担います。</p> <p><b>【観光関連事業者の役割】</b></p> <p>○観光関連事業者（直接観光客を受け入れるホテル・旅館、交通事業者、飲食店、土産店、体験農場等）は、それぞれの事業を通じた観光振興を推進する役割を担います。</p> <p>○本計画を推進するために、観光関連団体と連携し、観光事業の実施主体となります。</p>
行政	<p>○北斗市は観光振興に関わる事業を実施するほか、広く観光情報を発信し、北斗市の魅力発信に取り組みます。</p> <p>○本計画を推進するため、市民や民間、他市町村等との調整やコーディネートを行うほか、様々な事業の実施主体をバックアップする役割を担います。</p>

